

P・I・A シート

～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 実践事例～
小学校（特別の教科 道徳）編 ① 概要

校種・学年	小学校・3 学年	教科等	特別の教科 道徳
主題名	仲間を守るきまり 内容項目【C 規則の尊重】		
主題について	本主題は、小学校学習指導要領の内容項目 C「規則の尊重」、第3 学年及び第4 学年の「約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること」に関するものである。 児童が成長することは、同時に所属する集団や社会を構成する一員として集団や社会の様々な規範を身に付けていくことでもある。そのためにも、約束や法、きまりを進んで守ることができるようにすることが必要である。指導に当たっては、一般的な約束や社会のきまりの意義やよさについて理解し、それらを守るように指導していくことが大切である。さらに、社会集団を維持発展する上で、社会生活の中において守るべき道徳としての公德を進んで大切にす態度にまで広げていく必要がある。特に、集団生活をする上で、一人一人が相手や周りの人の立場に立ち、よりよい人間関係を築くことや、集団の向上のために守らなければならない約束やきまりを十分考えることが必要である。		
教材名	よろこびはだれに（出典：「彩の国の道徳 未来に生きる」埼玉県教育委員会）		
教材の概要	主人公が埼玉県なわとび大会の参加に向けて長縄跳びのコツを調べていたが、友達に自分たちもよい記録が出たらインターネットに動画を載せようと声を掛けるところから始まる。 練習の結果、新記録を出した主人公のチームは、喜びにあふれた。興奮冷めやらぬ主人公は、反対している友達がいるにも関わらず、みんなの役に立とうと自分たちの動画をインターネットに掲載したいと考えるようになる。 次の日の朝の会で担任から、他の学級の児童が写真をインターネットに掲載したことと問題になっているという話を聞き、インターネットの使い方の指導を受ける。主人公は、昨日、自分がしようとしていたことを思い出しドキドキした。		
ねらい	インターネットに動画を掲載しようかと迷う主人公の気持ちを考えることを通して、約束や決まりの意義を理解し、みんなが安全かつ安心して生活するために約束がつくられたことに気づき、相手や周りの人の立場を考えて進んできまりを守ろうとする心情を育てる。		
評価の視点	【物事を多面的・多角的に考えている様子】 ・主人公に自分を投影し、規則について多面的・多角的に考えている。 【道徳的価値について理解を自分との関わりで深めている様子】 ・自分のこれまでの生活の在り方を振り返り、きまりの意義についての考えを自分との関わりで深めている。		

事例の概要（見どころ）

- ① 道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を意識した授業実践です。
- ② ICT の効果的活用を意識し、ハートメーターを活用して、心の内の葛藤を可視化する授業実践です。

発行：令和7 年3 月
埼玉県教育局南部教育事務所
<https://www.pref.saitama.lg.jp/g2201/gakkou/pia.html>



その他のP・I・A シートはこちら ↑

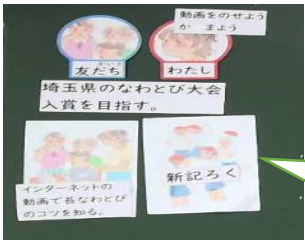
P・I・A シート

～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 実践事例～
 小学校 特別の教科 道徳編 ② 指導展開

1 ねらい

インターネットに動画を載せようかと迷う主人公の気持ちを考えることを通して、約束や決まりの意義を理解し、みんなが安全かつ安心して生活するために約束がつくられたことに気づき、相手や周りの人の立場を考えて進んでいきまを守ろうとする心情を育てる。[C 内容項目 規則の尊重]

2 学習指導課程

段階	学習活動・主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点 ☆評価の視点
導入 10分	1 約束やきまりについて考える。 ・どんな約束が学校にありますか。 ・約束やきまりを守れていますか。 ・約束は好きですか。	・廊下では走らない ・守れていると思う。 ・あまり好きではない。	・事前アンケートの結果から感じることを引き出すようにする。
	 【考え・議論する道徳実現のための授業改善の視点1】 本時で扱う価値について、児童が自分自身の問題として受け止めることを意識する。 事前のアンケート結果から「約束は大事だ」と感じているが、「約束が守れないことがある」という自分自身の課題に気付くようにしています。また、学校や家庭にはどのような約束があるのかについて触れ約束やきまりを守ることについて問題意識がもてるようにしています。		
展開 30分	2 教材「よろこびはだれに」を読み、話し合う。	きまりをまもるよさはなにかな。	
	 【考え・議論する道徳実現のための授業改善の視点2】 場面絵を活用し、児童が体験を想起させながら、教材の世界に入り込み、自分との関わりで考えることを意識する。 場面絵を使って発問することにより、なわとび大会で優勝したいと思う主人公の気持ちや、新記録が出た喜びに共感できるようにしています。		
	(1) 新記録が出たとき、主人公はどんな気持ちでいるでしょうか。	・やったあ。 ・自慢したいな。 ・インターネットに動画をあげてみんなの役にたちたいな。	・新記録を出して喜んだり、皆の役に立ちたいと考えたりする主人公の気持ちを共感的に考えられるようにする。
	 【考え・議論する道徳実現のための授業改善の視点3】 児童が今どのような考え方や感じ方をしているのか自覚することで自己を見つめることにつなげることを意識する。 インターネットに動画を「掲載したい」という思いと「掲載してはいけない」という思いで葛藤する心の内を、ICT 端末を使ってハートメーカーを操作して、可視化できるようにしています。		

(2) タブレットに向かいながら私はどんなことを考えているのでしょうか。	- 勝手に載せるのはよくない。 - でも新記録が出たことを自慢したいし、誰かの役に立つなら大丈夫かな。	3人グループで ICT 端末を活用して話し合いを行うようにする。
	【考え・議論する道徳実現のための授業改善の視点4】 児童が小集団で多様な考え方や感じ方の話し合いを通し、 多面的・多角的に考えさせることを意識する。 ハートメーターを見せ合いながら、自分の考え方や感じ方を伝え合う活動を行い、相違点に着目するようにしています。	
	【考え・議論する道徳実現のための授業改善の視点5】 児童が小集団での話し合いで出された考えをもとに、全体で話し合うことで、より多面的・多角的に考えさせることを意識する。 ハートメーターを大型モニターで共有し、小集団の話し合いでは出なかった考えや少数の考えに着目しながら、気になる考えをもった児童は誰かについて問いかけることで、児童同士を関わらせながら、自分の考え方や感じ方を発表できるようにし、児童の考えが広がるようにしています。	
(3) 先生の話聞いてドキドキしている主人公は、どんなことを考えているでしょう。 きまりを守るよさは何かな。	- 怒られなくてよかった。 - 相手にいやな思いをさせずに済んだ。 - 友達がいないかもしれない。 - インターネットは気を付けよう。 - 自分も相手も守ることにつながる。 - みんなが安全に楽しく生活できる。	インターネットが怖いと感じる主人公と普段楽しく利用している自分たちを比べ、きまりを守る大切さに気付くようにする。
	【考え・議論する道徳実現のための授業改善の視点6】 道徳的価値を実現することにどのような意味を見出すことができるのか自分との関わりで考えることを意識する。 約束やきまりを守ることは、みんなが気持ちよく生活していくために必要だということに気付かせるために、主人公の気持ちについて考えたことを通して、新しく気付いたことや改めて考えたことについて問いかけることで、児童の考えが深まるようにしています。	☆きまりを守る意義やきまりを守ることのよさについて、多面的・多角的に考えている。(観察・発言)
3 自分の生活を振り返る。 今日の学習でどんなことに気付きましたか。	きまりを守ると自分も他の人のことも守ることができる。	自己の経験を振り返り、今後の生き方について考えたことを書いたり、家庭で話し合ったりするようにする。
	【考え・議論する道徳実現のための授業改善の視点7】 書く活動を取り入れることで、ねらいに関わるこれまでの自分の生き方を深く見つめることを意識する。 本時のねらいに沿って、これまでの自分自身を振り返り、学習を通して思ったことや考えたことをじっくり書く時間を確保しています。	☆相手や周りの人々の立場を考えて進んできまりを守ることにについて、自分との関わりで考えを深めている。(観察・ノート)

よろこびはだれに



名前

きまりを守るよさは、何かな。

きまりを守るよさは、みんなが楽しく生活できる。みんながきまらない・みんなにめいわくをかけない・べんりに生活できることだと思います。理由は、ルールを守るとみんなが楽しくすごせるからです。

わたしはこのじ、業の前までは、ルールがすきでもきこいでもなかったけれど、このじ、業を通して、ルールを守ると楽しくなることが分かった。なので、ルールがすきになりました。

ふりがえりカード

◎よくできた

○できた

△もう少し

① 友だちの発表を聞いて考えた。

② 自分の考えを発表することができた。

③ 自分の事として、ふりがえることができた。

◎ ◎ ◎



道徳の時間に学習したことが書かれているワークシートです。

どんなことを学んで、自分自身でどのようなことを考えたのか、お子さんからお話を聞いてみてください。お話をしたことに對して、お子さんに向けて、コメントをお願いいたします。



おうちの方から

考え方、感じ方は人それぞれ。
相手の気持ちと推し量るのは難しい時もあるけれど、決まりを守ったうえで『自分だったらどうか』と、相手の立場に立って、相手を想うことも大切なことだ。
欲しいな。

推し量る、あることについて、いろいろ考えてみる。
推量する。推そくする。

終末5分

4 教師の説話を聞く。



【考え・議論する道徳実現のための授業改善の視点8】
説話をする中で、ねらいの根底にある道徳的価値をより身近に考えることを意識する。

教師が本時で扱った価値に関わる体験を語ることで、思考を一層深めたり、考えを整理することに生かせるようにしています。

・今日の学習に関する説明を行い、規則の尊重について余韻をもたせる。